

# 統治機構を中心とした地方自治のあり方

岩手県知事 増田寛也

## 1 北東北三県(青森・秋田・岩手)の広域連携

- ・ 広域連携の実践  
県外事務所(アンテナ・ショップ)、観光、環境、産業廃棄物税等20事業以上
- ・ 広域連携の意義  
スケールメリットの追求からスタート、実績積上げ重視
- ・ 今後の方向性  
地方のグランドデザイン、地方債の共同発行、社会資本の機能分担  
東北全体への拡大 等

## 2 地方自治制度改革への基本的な考え方

- ・ 基本的な理念  
「補完性の原理」  
「参加」「協働」「自立」「受益と負担」がキーワード
- ・ 経済的自立が重要(自己決定・自己責任)
- ・ 国と地方、県と市町村の役割分担の抜本的見直し(住民の視線で)
- ・ 市町村中心の地域経営
- ・ 都道府県の役割  
市町村の補完・支援、広域的な課題への対応、近年における知事の意識の変化

## 3 広域自治体に求められるもの

- ・ 広域化の背景  
少子化・高齢化(人口減少)、低経済成長、国際化・情報化、日常生活圏の拡大  
財政の破綻(約700兆円の債務残高)、中央政府の劣化 等
- ・ 経済的な自立(グローバルな経済社会でのプレーヤー)
- ・ 大胆な機能分担
- ・ 財政の水平的調整はブロック単位で
- ・ 国の仕事の大幅な移譲
- ・ 県単位でのフルセットからの脱却

## 4 広域自治体の制度(道州制、都道府県合併(合体))

- ・ 制度構築は国家的課題
- ・ 一国多制度の発想
- ・ 住民との協働による制度設計
- ・ 連携、共同事業の実施による意識の醸成